

浜松オートはこのたび、2011年8月中旬から3か月をかけて 22年ぶりとなる「競走路全面改修工事」を実施しましたので その工程をご紹介します。

工事担当：大成ロテック株式会社

大成ロテックよりごあいさつ

このたびは22年ぶりの競走路改修ということで、平坦性・透水性・すべり抵抗性を特に留意し、計画から工事完了までスタッフ全員で力を合わせ、高品質のものをづくりあげることが出来ました。雨天時にも大量の雨水を速やかに排水できる仕組みになっています。



① 2011年8月15日 工事開始。
22年間、名勝負が繰り返されてきた競走路を重機で掘削しました。



② わずか数日で走路下の白い土壌が顔を出しました。整地後、水はけを良くする最下層（砂利の層）を形成しました。



③ 9月上旬、ロードローラーで整地した最下層の表面に漆黒の接着剤を塗布し、舗装の強度を高めました。



④ 9月下旬、「フェーゲル」という特殊なドイツ製舗装機械を使用し、中間層となるアスファルトを敷きならしました。



⑤ 10月中旬、最上層である競走路専用アスファルトを舗装し、バンク傾斜を確認しました。



⑥ 10月下旬、競走路の表面に浮いてくる油膜を、日数をかけて念入りに除去清掃。スリップを減らし接地感を高めます。



⑦ 10月31日、スタート線、ゴール線、内外線が書き込まれ、本格的な競走路らしくなりました。



⑧ 11月1日、大時計を稼働させ、各ハンデ位置にタイヤを乗せてフライング・センサーのテストを実施しました。



⑨ 競走路に浸透した雨水が、側溝へとスムーズに流れ出るしくみになっており、これまでにない速乾性を実現しました。